

日本語教室の新年茶話会が開催されました

「日本語が上手になりたい」が今年目標

飯田 恵子(日本語教室部会)

2017年1月、今年も日本語教室の月曜、水曜、木曜、土曜の各教室で、新年茶話会が大会議室にて開催されました。19日(木曜日)の茶話会は18時10分から19時30分まで。参加者は学習者9名、ボランティア18名(2016年養成講座修了者5名を含む)の合計27名でした。

最初に、日本の新年の過ごし方を写真を見せながら簡単に説明しました。

門松、鏡餅、お節料理、雑煮、初詣、年賀状と話が進んでいきますが、いずれも学習者たちはほとんどが見たこともないという表情でした。雑煮を食べたことがあるという人がたった一人いました。皆さん日本人の家庭に招かれた経験はほとんどないそうです。来日して短いかたが多いためだと思いますが、せっかく国際交流協会の中で活動しているので、日本の家庭生活を体験出来る機会があったらいいのではないかと思います。

さて恒例の「名前ビンゴゲーム」へと移ると、静かだった参加者が一気に活気づきました。各々自分の今年の目標を読み上げながら、ゲームは続きます。短冊に書いた今年の目標には、やはり「日本語が上手になりたい」が一番多かったのですが、「バイクの免許を取り

たい」とか、「日本語検定試験に挑戦する」というのもありました。是非とも受かってほしいです。大好評のうちにビンゴゲームは修了となりました。

次は全員参加のかるたとりでした。

2チームに分かれ、取った枚数で順位を決め、1位、2位、3位まで景品が出ます。1位の方は14枚、2位、3位は12枚でした。もちろん「お手つき」もありで、盛り上がりました。

かるたで気持ちがあほぐれたのか、学習者同士が一緒にはねつきや、こま回し、お手玉等で楽しんでいました。短い時間ではありましたが、楽しく過ごすことが出来ました。

木曜日は他の曜日と違い、仕事後に学習に来る人がほとんどです。開始時間もバラバラなので、お互い言葉を交わす機会が少なく、学習者同士の交流もなかなか難しいのです。それだけにこの様な茶話会の開催は意義があると思います。

短冊に書かれていた「日本語が上手になりたい」という学習者の目標の達成に私たちボランティアが手を差しのべて、一緒に前進していけたらいいと思いました。



まず新年の過ごし方を説明しました



初めてのかるた遊び。絵札をとりました